

# 静岡県月例経済報告

(平成31年4月号)

……平成31年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 516

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	12
・ 雇用面 .....	14
・ その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成31年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成31年2月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が鈍化している。
- ・ 生産は、増勢が鈍化している。

## 需要面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(2月)は、百貨店が6か月連続、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(2月)は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが4か月連続、ドラッグストアが24か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、軽自動車が5か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総数でも5か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(2月)は、持家が6か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家が3か月連続、分譲住宅が4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(2月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成31年4月1日)の平成31年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(2月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「輸出は、増勢が鈍化している」

#### 「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（2月）は、自動車<sup>3</sup>が3か月ぶり、自動車の部分品が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機、エアコンがいずれも2か月ぶり、二輪自動車類が13か月ぶり、科学光学機器が8か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（2月）は、魚介類及び同調製品、自動車の部分品がいずれも2か月ぶり、原動機が2か月連続で前年実績を上回ったものの、木材、パルプがいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも11か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,030億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、増勢が鈍化している」

鉱工業生産指数（1月）は、輸送機械が前年と同水準、はん用・生産用・業務用機械が6か月連続、電気機械が13か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶり、食料品・たばこがいずれも4か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも7か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は3か月連続で低下した。

なお、鉱工業在庫指数（1月）は、総合では6か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（2月）は1.69倍で、前月と同水準であった。また、61か月連続で1倍を上回った。なお、24か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（2月）は、67か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（12月）は、13か月連続で前年実績を下回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 1.5%減と前年実績を下回った。信用保証協会保証金額（2月）は、前年同月比 7.5%減と前年実績を下回った。

### 「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産（3月）は、件数は12件（前年同月比 53.8%減）と下回り、負債総額は43億2,000万円（同 40.9%増）と前年実績を上回った。

## <トピックス> 「30歳になったら静岡県！」

一旦県外に就職したものの、仕事や家族のことなど自分の将来を真剣に見つめ直す30歳前後の若者たちに対し、SNS等を活用して県内企業の最新情報などを提供し、県内への就職を支援しています。

### ○静岡の暮らしやすさをPR

- ・静岡県と首都圏(東京都・神奈川県)の生活面、経済面の各指標を調査、比較
- ・本県が持つ多くの優位性をデータ化

#### (1)生活

静岡県なら日の当たる広い持ち家で快適に！

指標	静岡県	東京都	神奈川県
住宅の広さ H25住宅土地統計調査	131.66㎡	90.68㎡	98.60㎡
持ち家率 H25住宅土地統計調査	67.7%	46.0%	60.5%
快晴日数 気象庁HP	40日	24日	24日
健康寿命 静岡県調査	73.82歳	72.24歳	73.08歳

#### (2)仕事

静岡県なら通勤時間が短く、  
趣味の時間や家族との時間も大切に！

指標	静岡県	東京都	神奈川県
通勤時間(往復) H28社会生活基本調査	68分	94分	105分
有業者の帰宅時間 H28社会生活基本調査	18時39分	19時13分	19時16分
女性の有業率 (25歳～44歳、育児中) H28社会生活基本調査	53.0%	50.0%	41.1%

#### (3)自然・余暇

静岡県なら豊かな自然が身近にたっぷり！

指標	静岡県	東京都	神奈川県
海・山等の 多彩な自然環境	富士山 駿河湾 伊豆半島 浜名湖 南アルプス etc	高尾山 奥多摩	箱根 丹沢山地 湘南 三浦半島
スポーツ活動する人の 割合 H28社会生活基本調査	14.1%	11.0%	11.3%
体育・スポーツ施設数 (10万人毎) H27体育・スポーツ施設数現況 調査	54.7施設	25.1施設	29.0施設
出身Jリーガー数 (10万人毎) Jリーグ選手名鑑	2.17人	1.20人	1.65人
海水浴場数 データで見る県勢2018	54カ所	36カ所	24カ所
温泉施設数 H28温泉利用状況	2,379施設	174施設	793施設

#### (4)文化・芸術

静岡県は1人当たりの芸術・音楽施設が  
多く、気軽に利用しやすい環境！

指標	静岡県	東京都	神奈川県
美術館数(10万人毎) H27社会教育調査	1.22施設	0.79施設	0.48施設
博物館数(10万人毎) H27社会教育調査	3.21施設	1.58施設	1.24施設
劇場・音楽堂数 (10万人毎) H27社会教育調査	1.54施設	0.93施設	0.78施設
コンサート会場数 (10万人毎・座席数1,000以上) 静岡県調査	0.27施設	0.32施設	0.19施設
ピアノ普及率 (1,000世帯毎) H28社会生活基本調査	29.6施設	22.8施設	24.3施設

#### (5)お金

住居費などが安く、支出も抑えられ、生活収支は意外と良い！

	指 標				
	大学初任給 (円)	消費者物価地域差指数 (全国100)	戸建て住宅価格 (平均面積当たり)	マンション価格 (平均面積当たり)	生涯貯蓄 (夫婦とも正社員)
静岡県	20.1万円	98.3	4,018万円	3,415万円	2,837万円
東京都	21.5万円	104.4	5,629万円	5,135万円	2,832万円
神奈川県	20.7万円	104.2	4,813万円	4,444万円	2,566万円

○指標は特設サイトで公開中

(<https://www.koyou.pref.shizuoka.jp/file/pamphlet310405.pdf>)

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

2月 = 29,545百万円

\*前年同月比： 4.5%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は29,545百万円で、前年同月比 4.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.9%減）が6か月連続、スーパー（同 5.3%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 7.2%減）が8か月連続、身の回り品（同 0.9%減）、飲食料品（同 4.2%減）がいずれも2か月連続、家庭用品（同 8.9%減）が17か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.1%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
販売額(百万円)	35,213	33,855	32,358	33,408	33,659	43,100	34,284	29,545
前年同月比(%)	▲1.1	0.0	3.0	▲0.8	▲2.3	0.6	▲6.5	▲4.5
うち百貨店(%)	▲7.5	1.9	▲0.2	▲1.6	▲1.4	▲2.8	▲3.5	▲0.9
スーパー(%)	0.6	▲0.4	3.8	▲0.6	▲2.6	1.6	▲7.3	▲5.3
(参考1)全国前年同月比(%)	▲1.6	▲0.1	0.4	▲0.8	▲2.1	▲1.0	▲3.3	▲1.8
うち百貨店(%)	▲5.1	0.6	▲2.6	1.1	▲1.1	▲1.3	▲3.3	▲0.1
スーパー(%)	0.3	▲0.4	1.7	▲1.8	▲2.6	▲0.8	▲3.4	▲2.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.9	▲0.4	2.7	▲0.6	▲1.2	1.3	▲5.8	▲4.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
衣料品	▲7.8	▲1.5	▲0.7	▲7.0	▲5.8	▲2.1	▲6.7	▲7.2
うち紳士服・洋品	▲6.0	▲3.2	▲1.0	▲7.5	▲7.0	▲1.6	▲9.7	▲9.9
婦人・子供服・洋品	▲8.1	▲1.8	▲1.0	▲5.6	▲4.4	▲1.8	▲4.6	▲7.0
身の回り品	▲6.9	▲0.2	▲3.2	▲5.6	▲1.9	6.4	▲4.5	▲0.9
飲食料品	1.0	0.7	4.8	1.2	▲0.6	1.5	▲6.1	▲4.2
家庭用品	▲8.5	▲6.6	▲1.5	▲0.6	▲9.0	▲4.8	▲15.0	▲8.9
うち家庭用電気機械器具	6.7	▲1.4	10.8	8.4	▲6.7	0.7	▲1.5	1.4

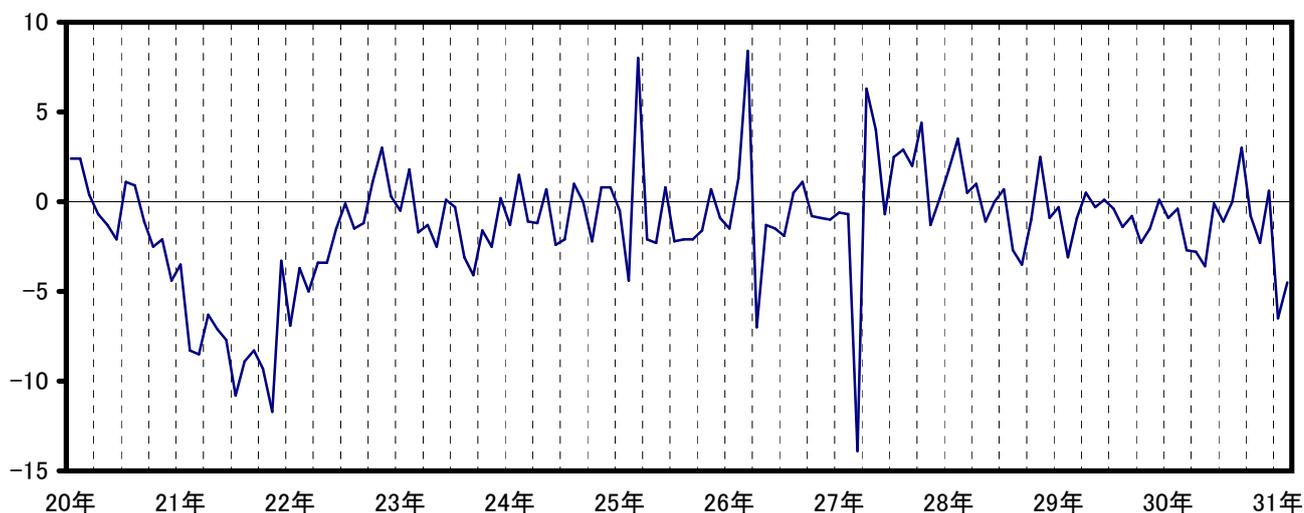
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

2月 = 60,495百万円

\*前年同月比： 3.0%増

(県内87家電大型専門店、1,709コンビニエンスストア、489ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

2月の専門量販店等販売額は60,495百万円で、前年同月比 3.0%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 1.7%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 0.8%増）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 2.8%増）が4か月連続、ドラッグストア（同 5.6%増）が24か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
販売額(百万円)	76,838	72,146	66,765	67,010	65,321	78,121	66,381	60,495
前年同月比(%)	2.5	1.7	4.8	4.1	1.1	2.5	2.6	3.0
うち 家電大型専門店(%)	4.5	2.7	10.5	1.4	▲ 2.5	3.7	▲ 0.5	0.8
コンビニエンスストア(%)	0.6	1.0	3.6	▲ 0.1	0.8	2.1	1.9	2.8
ドラッグストア(%)	6.9	4.3	6.4	7.4	4.9	4.4	6.3	5.6
ホームセンター(%)	▲ 1.0	▲ 1.0	1.4	15.5	▲ 1.4	0.1	▲ 1.1	▲ 1.7
(参考)全国前年同月比(%)	1.5	1.6	4.6	2.0	1.2	3.0	2.2	2.7

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

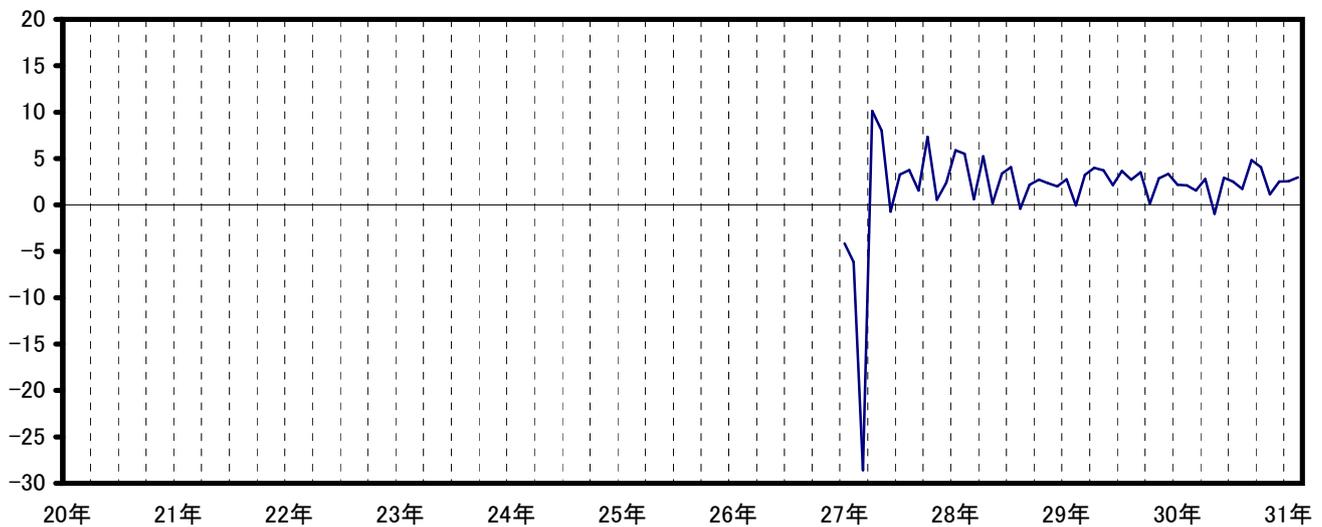
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 17,761 台

\*前年同月比： 0.7%減

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は17,761台(前年同月比 0.7%減)と、5か月ぶりに前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 2.9%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 2.0%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
登録台数(台)	14,618	12,013	16,766	14,092	14,723	13,208	15,664	17,761
前年同月比(%)	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2	2.0	▲ 0.7
(参考)全国前年同月比(%)	3.3	4.0	▲ 3.3	11.6	7.4	▲ 3.2	0.9	▲ 0.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

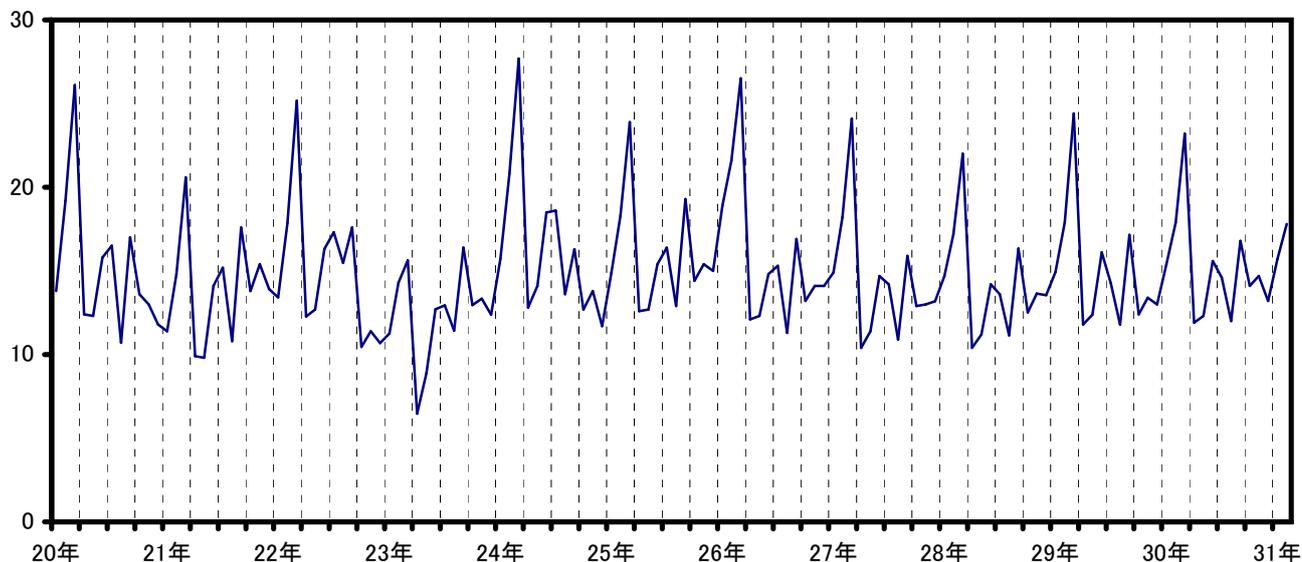
	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
全乗用車	2.4	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2	2.0	▲ 0.7
乗用車	▲ 0.4	▲ 3.0	▲ 3.1	15.7	9.8	▲ 2.4	3.2	▲ 2.9
軽自動車	6.0	8.7	▲ 1.2	11.6	9.3	6.0	0.7	2.0

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,603 戸

\*前年同月比： 8.0%減

### <概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,603戸で、前年同月比 8.0%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 7.7%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 8.4%減）が3か月連続、分譲住宅（同 36.7%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

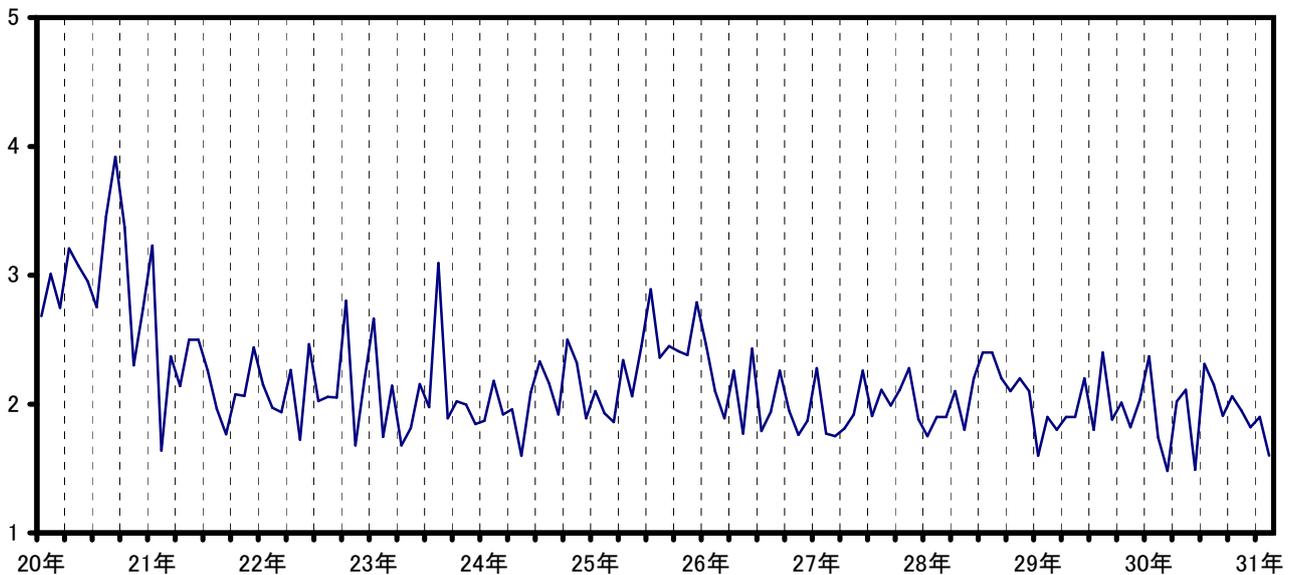
	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
戸数 (戸)	2,309	2,152	1,908	2,059	1,950	1,821	1,897	1,603
前年同月比 (%)	25.6	▲ 9.8	1.6	2.3	7.1	▲ 10.4	▲ 19.9	▲ 8.0
うち持家 (%)	4.1	▲ 1.9	4.7	8.3	3.7	2.7	1.9	7.7
貸家 (%)	70.1	▲ 26.8	▲ 10.2	▲ 7.5	19.2	▲ 25.3	▲ 11.8	▲ 8.4
分譲住宅 (%)	30.9	7.2	36.4	5.8	▲ 2.0	▲ 15.6	▲ 61.1	▲ 36.7
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 0.7	1.6	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	2.1	1.1	4.2

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

2月 = 10,706百万円

\*前年同月比：28.6%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

2月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は10,706百万円で、前年同月比28.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は166件で、前年同月比10.3%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
金額(百万円)	29,729	28,357	41,187	23,847	14,829	22,329	9,431	10,706
前年同月比(%)	9.9	16.8	▲9.9	12.5	6.2	70.9	▲1.5	28.6
年度累計前年同月比(%)	12.9	13.5	8.3	8.7	8.6	11.8	11.3	11.8
件数(件)	872	857	1,185	738	690	719	315	166
前年同月比(%)	17.0	8.2	▲13.6	1.2	3.4	3.6	▲14.6	▲10.3
年度累計前年同月比(%)	12.4	11.4	3.9	3.6	3.5	3.5	2.6	2.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

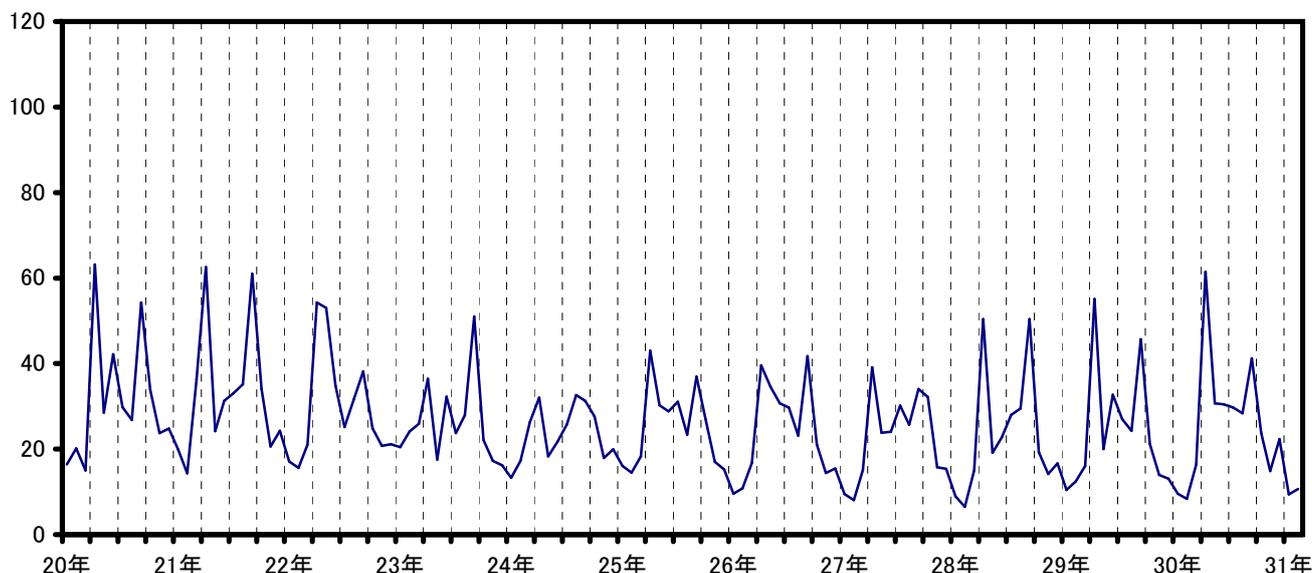
	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
国	129.5	▲0.8	▲54.8	▲25.9	▲29.2	8,054.0	130.2	58.0
独立行政法人等	488.7	▲35.1	238.5	424.5	164.3	▲4.1	▲4.8	▲21.9
県	45.6	20.6	▲12.0	2.4	▲12.1	18.4	▲62.0	35.0
市町	0.2	21.1	▲16.2	14.6	▲0.8	98.3	68.3	35.2
地方公社	▲95.2	▲91.5	▲32.1	290.5	467.9	912.0	▲98.3	-
その他	▲76.8	106.3	▲59.7	▲58.2	440.5	511.2	14.7	19.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

平成31年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 15.3%増）で増加、非製造業（同 4.5%減）で減少し、全産業（同 5.7%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.0%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 5.0%増）では増加する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は153,005㎡で、前年同月比 24.1%増となり、2か月に前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (計画)	31年度 (計画)
全産業	県	(1.5) 10.3	5.7
	全国	(0.0) 10.4	▲2.8
製造業	県	(▲3.4) 6.2	15.3
	全国	(▲3.8) 11.1	2.0
非製造業	県	(7.3) 15.0	▲4.5
	全国	(2.4) 10.0	▲5.6

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (計画)	31年度 (計画)
全産業	県	(0.5) 11.4	5.0
	全国	(▲0.5) 9.1	0.4
製造業	県	(▲1.6) 10.0	8.0
	全国	(▲1.7) 8.4	2.0
非製造業	県	(6.6) 15.3	▲3.1
	全国	(0.8) 9.7	▲1.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成31年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成31年3月調査)」

### <最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	284,663	153,769	236,654	115,833	87,374	212,110	68,477	153,005
前年同月比（%）	142.5	17.2	187.3	▲1.5	▲9.6	94.6	▲21.0	24.1
(参考) 全国前年同月比（%）	8.8	▲10.9	▲7.3	▲3.2	▲7.0	15.3	1.0	▲15.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年12月	31年3月	31年6月 (予測)
全産業	14	11	7
製造業	14	9	5
非製造業	14	13	7
(参考) 全国・全産業	16	12	7

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成31年3月調査)」

## 5 輸出

2月 = 180,404百万円

\*前年同月比： 3.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は180,404百万円で、前年同月比 3.5%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 13.5%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 7.6%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 10.9%増）、エアコン（同 30.4%増）がいずれも2か月ぶり、二輪自動車類（同 2.7%増）が13か月ぶり、科学光学機器（同 5.0%増）が8か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 2.5%増）が4か月ぶり、米国向け（同 8.1%増）が2か月ぶり、EU向け（前年同月比 7.0%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
輸出総額(百万円)	182,839	174,298	192,381	186,631	180,101	211,171	151,102	180,404
前年同月比(%)	▲ 1.1	1.7	9.3	0.6	0.7	6.0	▲ 4.0	3.5

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
原動機	1.0	11.8	29.1	38.9	21.1	15.9	▲ 0.9	10.9
エアコン	12.6	10.4	2.2	▲ 20.4	▲ 8.1	16.6	▲ 5.0	30.4
自動車	▲ 19.3	▲ 23.3	33.3	▲ 25.8	▲ 11.6	10.0	165.9	▲ 13.5
自動車の部分品	7.7	0.0	12.1	▲ 2.8	▲ 9.6	▲ 4.9	▲ 13.2	▲ 7.6
二輪自動車類	▲ 20.4	▲ 27.8	▲ 19.2	▲ 17.9	▲ 7.8	▲ 0.5	▲ 8.6	2.7
科学光学機器	▲ 4.2	▲ 18.9	▲ 14.8	▲ 5.4	▲ 10.8	▲ 30.7	▲ 17.6	5.0

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
アジア	7.6	2.8	9.1	2.8	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 12.2	2.5
米国	▲ 8.2	14.7	2.5	18.7	11.0	2.4	▲ 4.3	8.1
EU	▲ 13.8	▲ 15.8	25.0	▲ 20.0	▲ 7.4	17.6	20.0	7.0

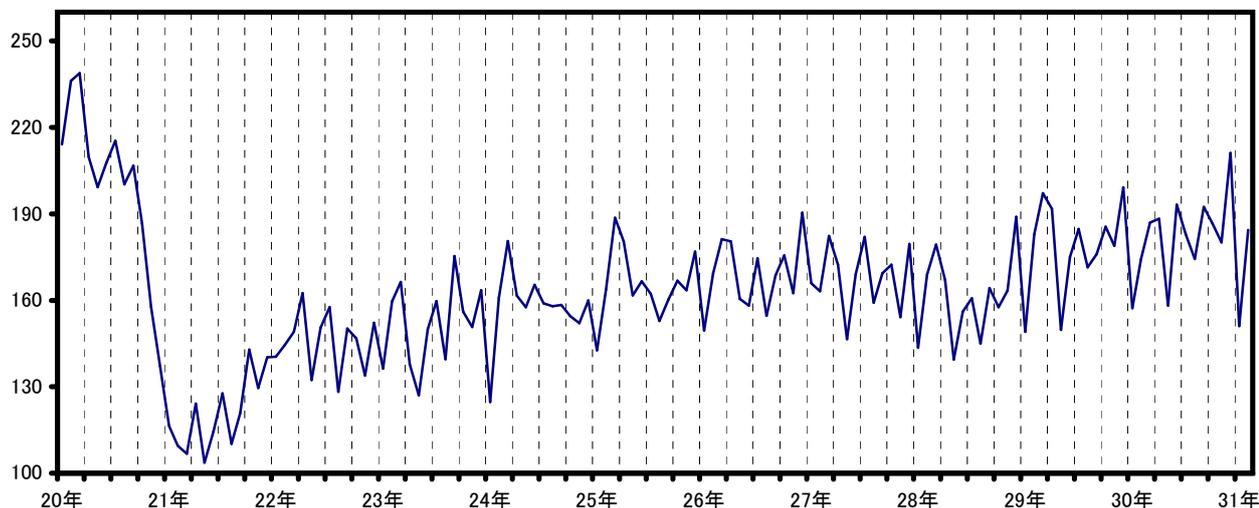
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

2月 = 77,453百万円

\*前年同月比： 9.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は77,453百万円で、前年同月比 9.1%減となり、11か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 0.7%増）、自動車の部分品（同 6.8%増）がいずれも2か月ぶり、原動機（同 36.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、木材（同 26.3%減）、パルプ（同 29.0%減）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 11.0%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 3.5%増）が5か月連続、EUから（前年同月比 17.1%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、米国から（同 27.1%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
輸入総額(百万円)	95,994	89,373	84,671	105,004	97,059	100,856	104,385	77,453
前年同月比(%)	16.8	4.6	1.2	43.2	8.3	13.1	16.2	▲9.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
魚介類及び同調製品	▲5.8	▲8.4	▲15.5	35.3	▲21.6	4.3	▲7.3	0.7
木材	23.4	▲6.0	▲21.5	2.3	▲26.4	▲12.0	8.7	▲26.3
パルプ	47.4	6.5	▲24.0	81.0	13.8	▲27.5	37.5	▲29.0
紙類及び同製品	▲5.4	▲19.3	9.4	5.2	▲18.6	8.8	37.1	▲11.0
原動機	3.5	51.7	▲21.0	40.0	53.9	▲1.2	87.9	36.4
自動車の部分品	48.9	13.9	33.2	30.7	44.4	61.6	▲6.0	6.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

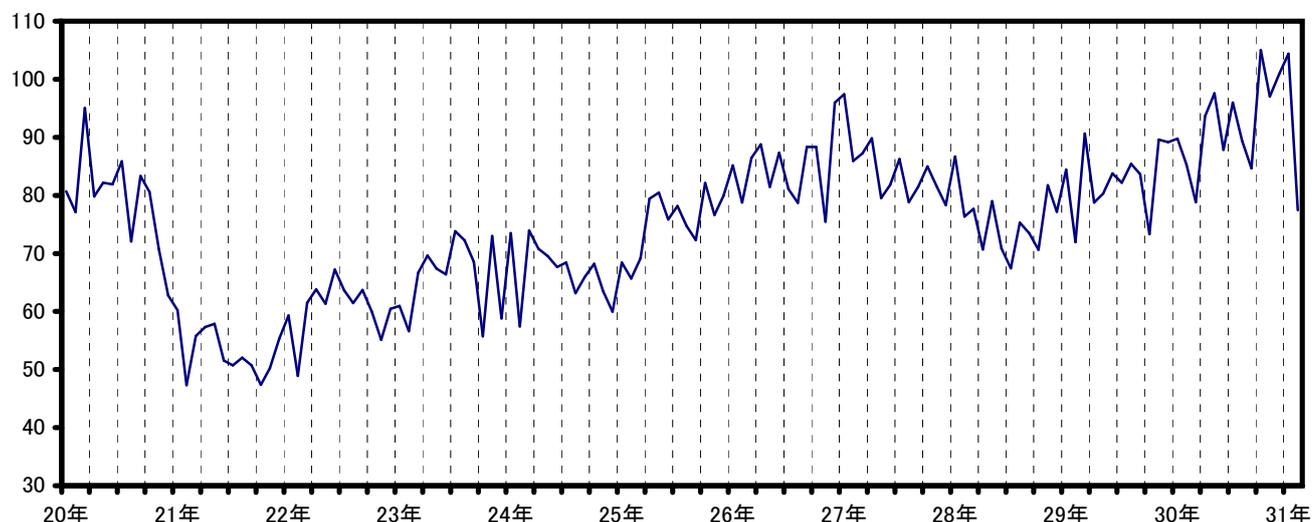
	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
アジア	19.9	8.7	▲5.7	35.1	25.7	9.3	11.0	3.5
米国	8.4	21.8	▲19.9	▲13.8	2.4	▲2.8	16.4	▲27.1
EU	3.9	14.2	2.0	55.9	▲5.2	▲7.4	▲14.0	17.1

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

1月 = 104.0

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.9%減

\*前年同月比(原指数) : 4.6%増

#### <概況>

1月の鉱工業生産指数(総合)は104.0(季節調整済指数)で、前月比2.9%減と、3か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は4.6%増と、7か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、輸送機械が前年と同水準、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比19.0%増)が6か月連続、電気機械(同13.2%増)が13か月連続、化学(同1.1%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.1%増)がいずれも2か月ぶり、食料品・たばこ(同4.8%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
指数	103.4	102.9	104.6	107.6	109.0	107.7	107.1	104.0
前月比(%)	1.8	▲0.5	1.7	2.9	1.3	▲1.2	▲0.6	▲2.9
前年同月比(%)	▲0.4	3.1	1.5	2.3	4.2	5.2	2.1	4.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	2.1	0.2	▲2.5	4.2	1.5	▲1.9	0.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲2.6	▲5.1	2.2	8.4	4.1	6.0	1.6	19.0
電気機械工業	2.1	11.9	13.9	23.8	22.7	11.3	6.8	13.2
輸送機械工業	2.6	6.5	▲2.9	▲1.0	▲0.4	2.1	0.7	0.0
化学工業	▲4.9	3.8	7.5	▲2.0	5.1	9.7	▲0.8	1.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.1	0.5	1.1	▲0.2	▲0.1	2.6	▲3.3	0.1
食料品・たばこ工業	▲0.8	▲4.1	▲4.9	▲0.1	6.5	4.8	3.4	4.8

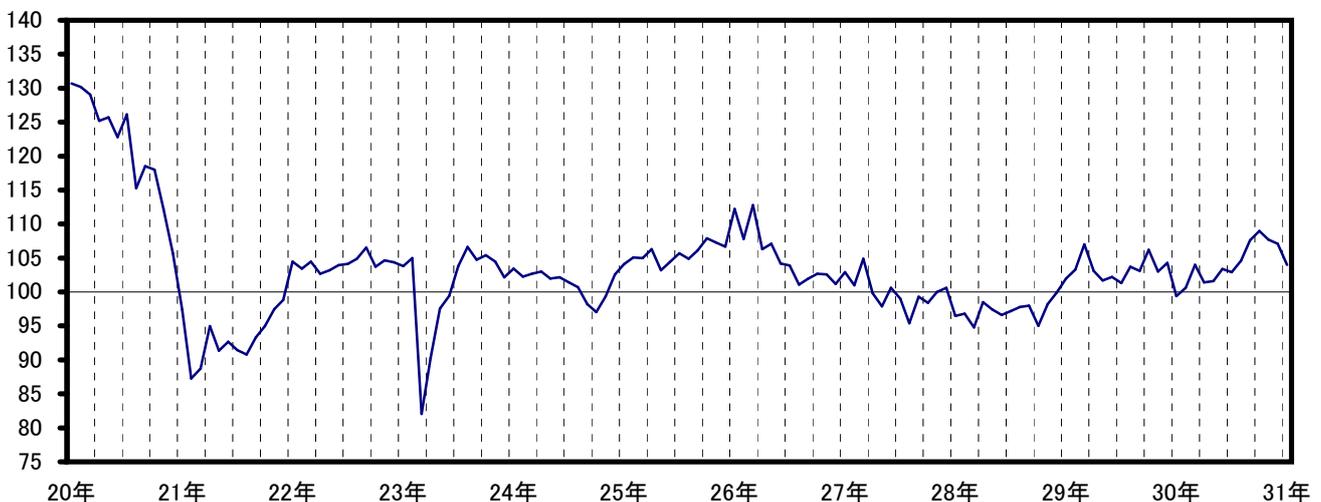
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

1 月 = 108.8

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 4.6%減

\*前年同月比(原指数) : 4.8%増

### <概況>

1月の鋳工業在庫指数(総合)は108.8(季節調整済指数)で、前月比は4.6%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は4.8%増と、6か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比 25.1%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 6.7%減)が19か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 12.2%増)が2か月ぶり、電気機械(同 4.4%増)が9か月ぶり、化学(同 36.1%増)が22か月連続、食料品・たばこ(同 0.9%増)が4か月ぶりに前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
指数	104.3	104.2	109.0	116.8	111.0	108.5	114.1	108.8
前月比(%)	▲4.2	▲0.1	4.6	7.2	▲5.0	▲2.3	5.2	▲4.6
前年同月比(%)	▲2.0	▲0.1	3.9	11.8	1.5	1.9	9.9	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	2.4	3.2	2.8	3.5	▲0.7	0.6	1.9	1.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲5.5	▲2.6	1.7	▲3.4	▲3.1	0.6	▲0.7	12.2
電気機械工業	▲11.5	▲9.3	▲10.5	▲4.0	▲6.2	▲7.8	▲3.8	4.4
輸送機械工業	▲33.8	▲18.4	▲8.7	2.1	▲9.0	▲9.0	0.8	▲25.1
化学工業	23.6	22.1	24.9	61.2	22.7	15.4	56.7	36.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲7.5	▲6.4	▲4.6	▲1.3	▲8.4	▲7.2	▲11.1	▲6.7
食料品・たばこ工業	▲7.7	▲7.0	▲0.1	▲1.0	0.2	14.1	4.2	0.9

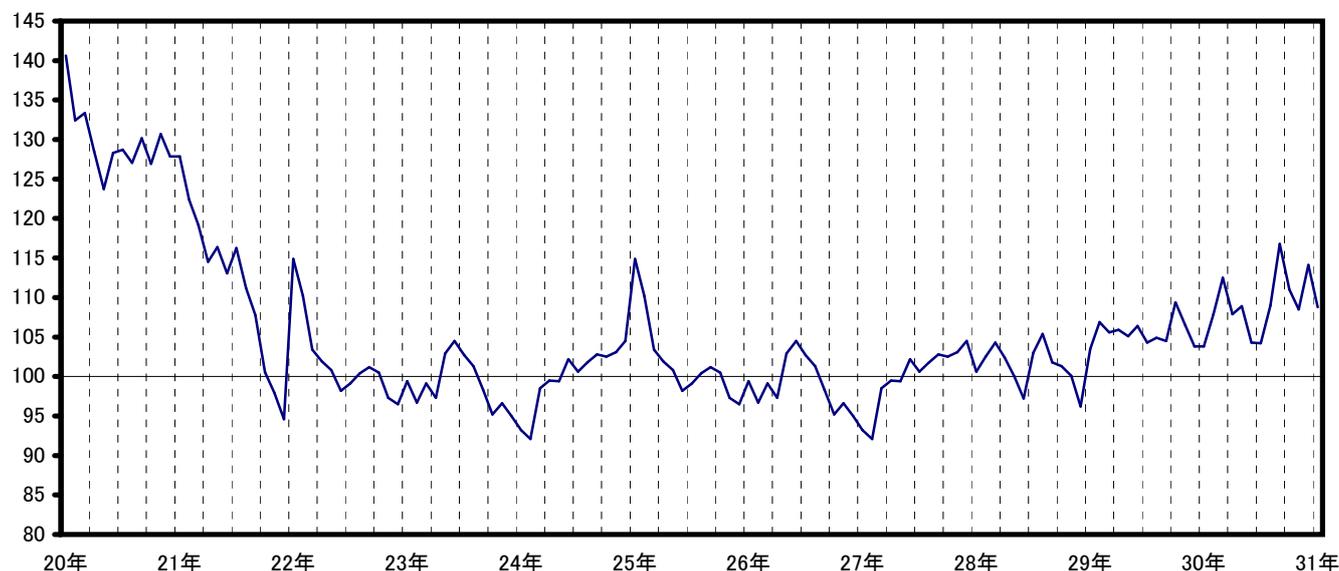
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**2月 = 1.69倍**

\*前月比(季節調整値) : 同水準

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概況>

2月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.69倍となり、前月と同水準であった。また、24か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比1.9%減)は6か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比9.0%増)が7か月ぶりに前年実績を上回ったものの、製造業(同0.4%減)が3か月連続、情報通信業(同11.8%減)が6か月連続、運輸業・郵便業(同2.5%減)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同11.9%減)が2か月連続、医療・福祉(同3.0%減)が9か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同13.0%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
県	1.71	1.69	1.69	1.66	1.66	1.66	1.69	1.69
全 国	1.62	1.63	1.63	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
建 設 業	6.6	▲ 1.7	▲ 10.4	▲ 8.5	▲ 1.2	▲ 12.1	▲ 10.0	9.0
製 造 業	11.8	17.1	▲ 4.8	16.7	10.5	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 0.4
情 報 通 信 業	▲ 1.5	2.9	▲ 11.4	▲ 31.1	▲ 3.7	▲ 8.7	▲ 45.5	▲ 11.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	16.2	10.7	▲ 3.5	6.5	17.1	▲ 8.8	3.4	▲ 2.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 7.5	0.9	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 14.1	19.3	▲ 11.1	▲ 11.9
医 療 ・ 福 祉	▲ 3.3	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 10.1	▲ 4.4	▲ 0.6	▲ 12.1	▲ 3.0
サービス業(他に分類されないもの)	21.4	5.1	▲ 18.1	▲ 4.5	▲ 1.4	▲ 26.1	11.4	▲ 13.0
合 計	6.6	4.6	▲ 9.1	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 6.9	▲ 3.1	▲ 2.3

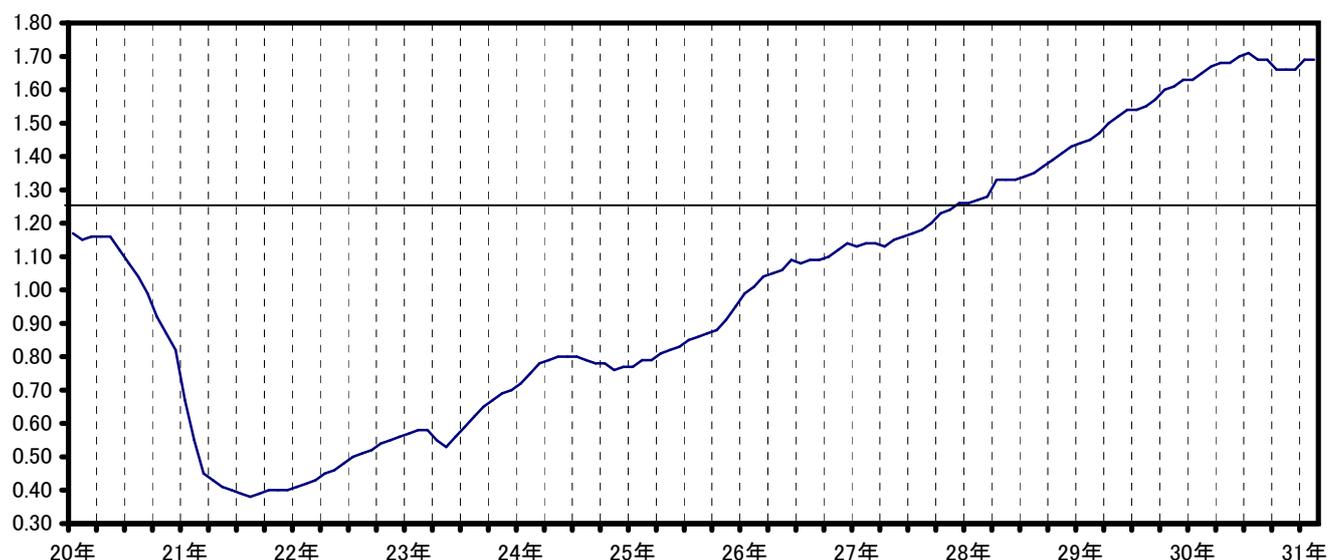
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 9,522人

\*前月比: 4.0%減

\*前年同月比: 1.1%減

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は9,522人で、前月比は4.0%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は1.1%減と67か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.3%で、前月から0.2ポイント改善した。

静岡県(平成30年10~12月)の完全失業率は1.8%で、前期(30年7~9月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
実人員(人)	10,974	11,407	10,605	10,885	10,196	9,577	9,922	9,522
前月比(%)	4.4	3.9	▲7.0	2.6	▲6.3	▲6.1	3.6	▲4.0
前年同月比(%)	▲1.1	▲3.7	▲5.6	▲2.0	▲6.0	▲6.8	▲2.3	▲1.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.3	▲2.3	▲1.6	0.8	▲1.0	▲0.7	1.4	1.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5	2.3

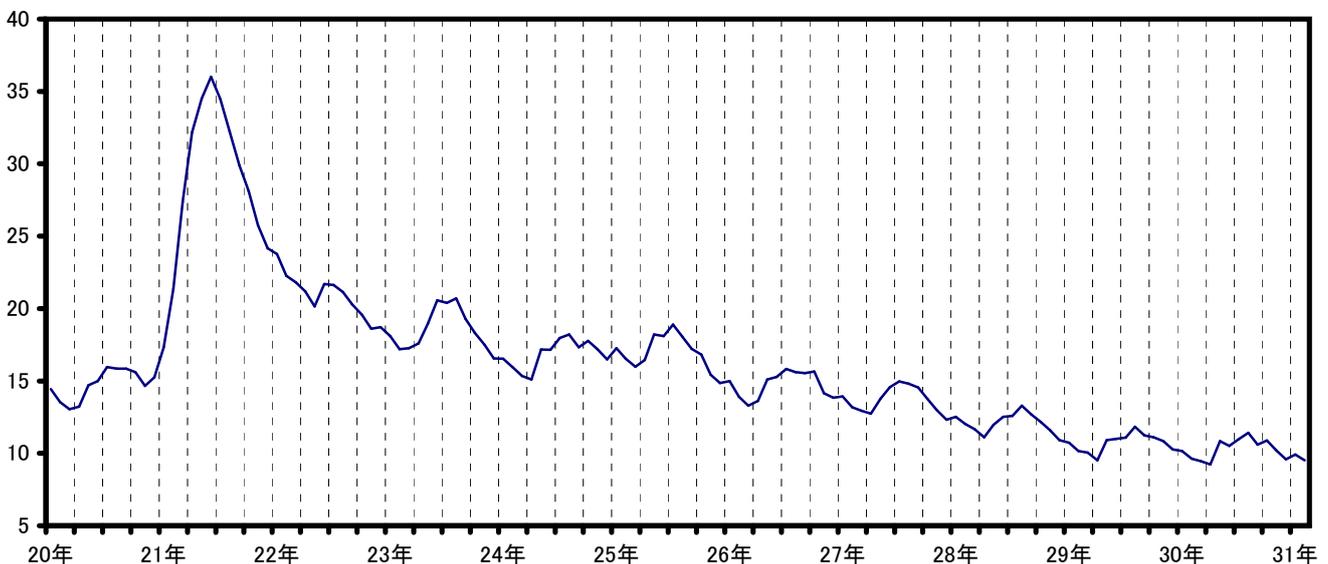
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

12月 = 91.5

\*前月比(季節調整済指数): 6.0%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 8.7%減

#### <概況>

12月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は91.5(季節調整済指数)で、前月比6.0%減となった。また、前年同月比(原指数)は8.7%減と13か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比71.4%増)が14か月連続、卸売業・小売業(同11.7%増)が2か月連続、その他のサービス業(同4.2%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同49.0%減)が7か月連続、製造業(同3.6%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同2.7%減)、医療・福祉(同11.7%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	97.1	93.9	97.8	98.0	91.1	96.4	97.3	91.5
前月比(%)	5.5	▲3.3	4.2	0.2	▲7.0	5.8	0.9	▲6.0
前年同月比(%)	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	0.8	0.0	▲1.6	▲2.4	0.8	▲0.7	▲3.0

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	284.8	▲44.5	▲33.8	▲53.1	▲62.4	▲44.6	▲52.6	▲49.0
製造業	▲7.9	▲0.5	3.2	▲1.7	▲7.0	1.6	▲3.3	▲3.6
情報通信業	83.7	86.6	75.2	105.0	85.7	105.8	88.8	71.4
運輸業・郵便業	▲10.7	▲10.1	▲11.0	▲7.7	▲10.1	▲10.5	1.5	▲2.7
卸売業・小売業	▲7.1	▲10.9	9.2	4.4	6.4	▲2.6	21.0	11.7
医療・福祉	▲26.2	1.6	▲15.9	▲1.4	▲20.4	▲16.1	2.8	▲11.7
その他のサービス業	15.1	20.0	8.0	10.1	6.8	7.4	▲2.4	4.2
調査産業計	▲6.2	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7

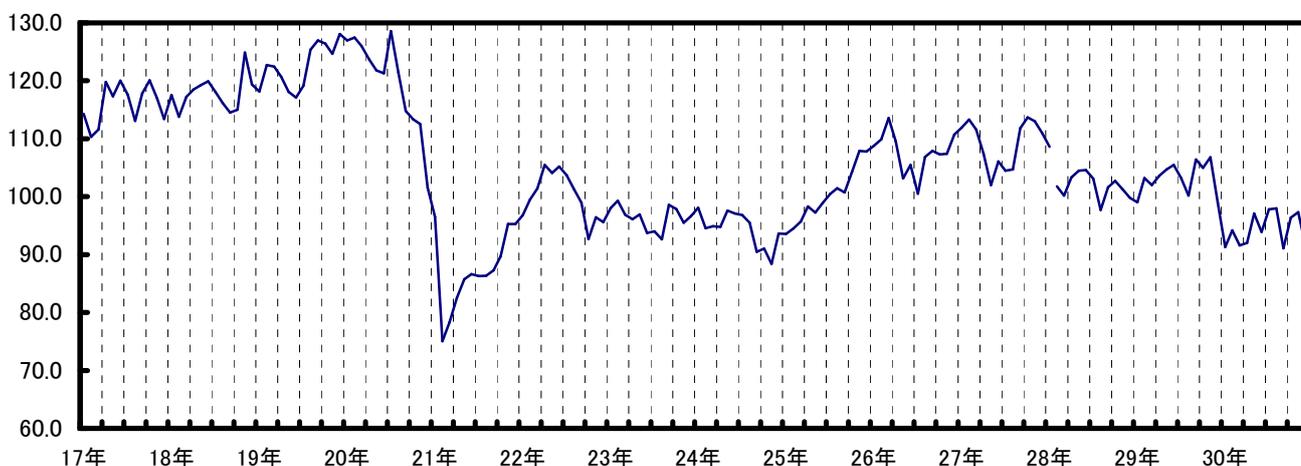
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

3 月 = 101.5

(平成27年=100)

\*前 月 比: 0.3%上昇

\*前年同月比: 1.3%上昇

#### <概 況>

3月の国内企業物価指数は101.5となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は1.3%の上昇となった。

#### <最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
国内企業物価指数	101.8	102.0	102.4	102.1	101.5	100.9	101.1	101.5
前 月 比 (%)	0.0	0.2	0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	0.2	0.3
前年同月比 (%)	3.1	3.0	3.0	2.3	1.5	0.6	0.8	1.3

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 137,331億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 0.2%減

\*前年同月比: 1.5%減

#### <概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,331億円で、前月比は0.2%の減少となった。また、前年同月比は1.5%の減少となった。

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
貸出残高(億円)	138,340	138,099	138,887	137,361	137,406	138,841	137,565	137,331
前 月 比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.2	0.6	▲ 1.1	0.0	1.0	▲ 0.9	▲ 0.2
前年同月比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 1.5

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

2 月 = 1.909%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.011ポイント減

\*前年同月差: 0.191ポイント減

#### <概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.909%で、前月から0.011ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.191ポイントのマイナスとなった。

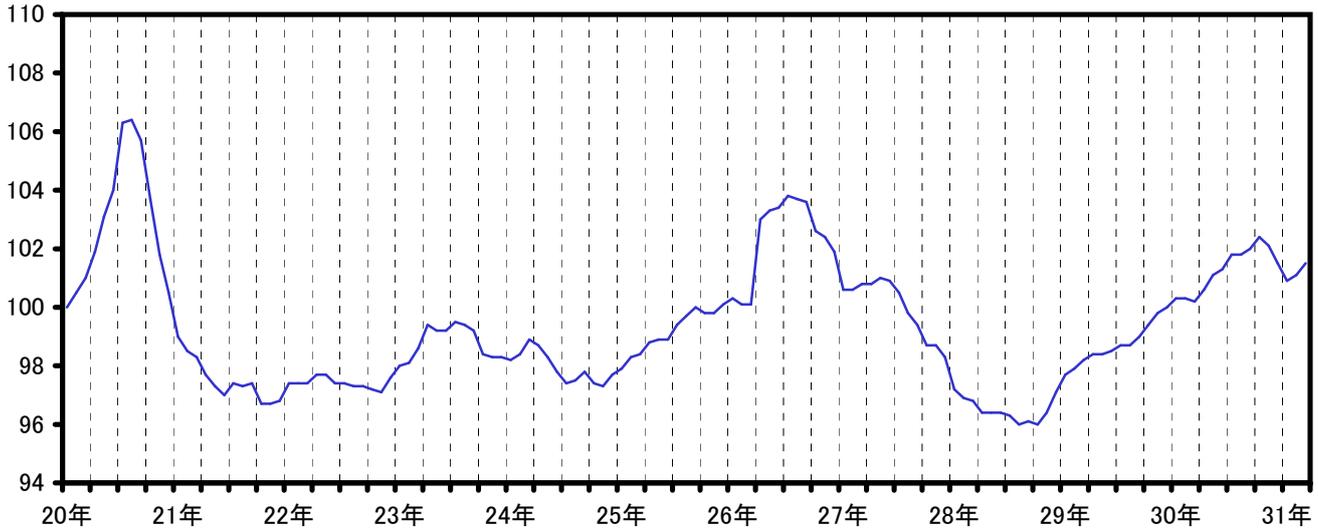
	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
貸出約定金利(%)	2.018	1.999	1.977	1.970	1.952	1.925	1.920	1.909
前月差(ポイント)	▲ 0.004	▲ 0.019	▲ 0.022	▲ 0.007	▲ 0.018	▲ 0.027	▲ 0.005	▲ 0.011
前年同月差(ポイント)	▲ 0.102	▲ 0.123	▲ 0.134	▲ 0.153	▲ 0.165	▲ 0.173	▲ 0.186	▲ 0.191

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

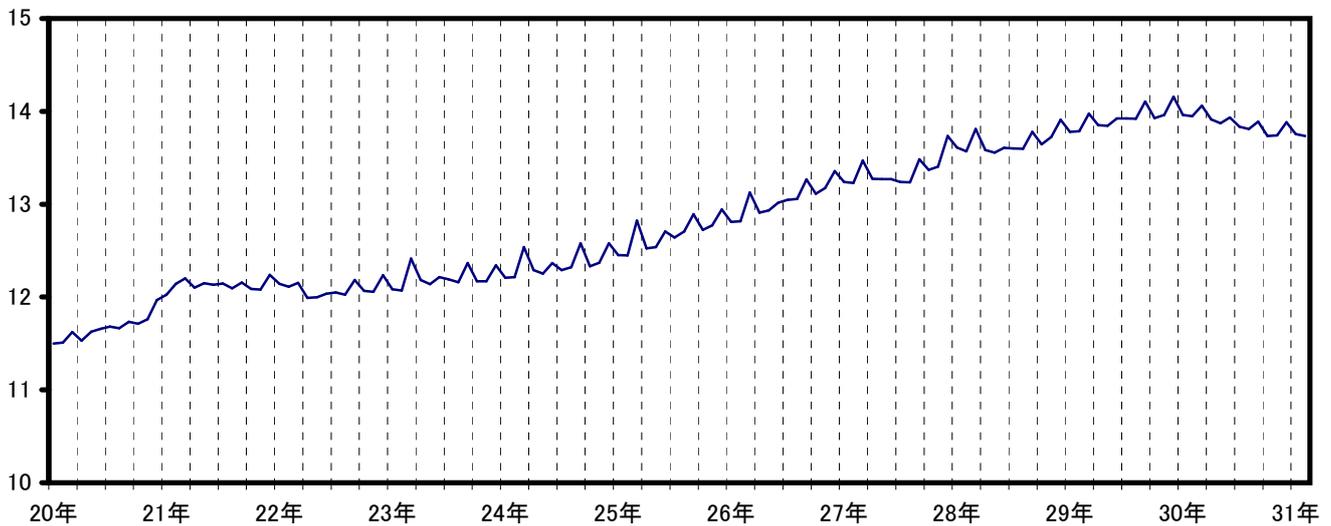
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



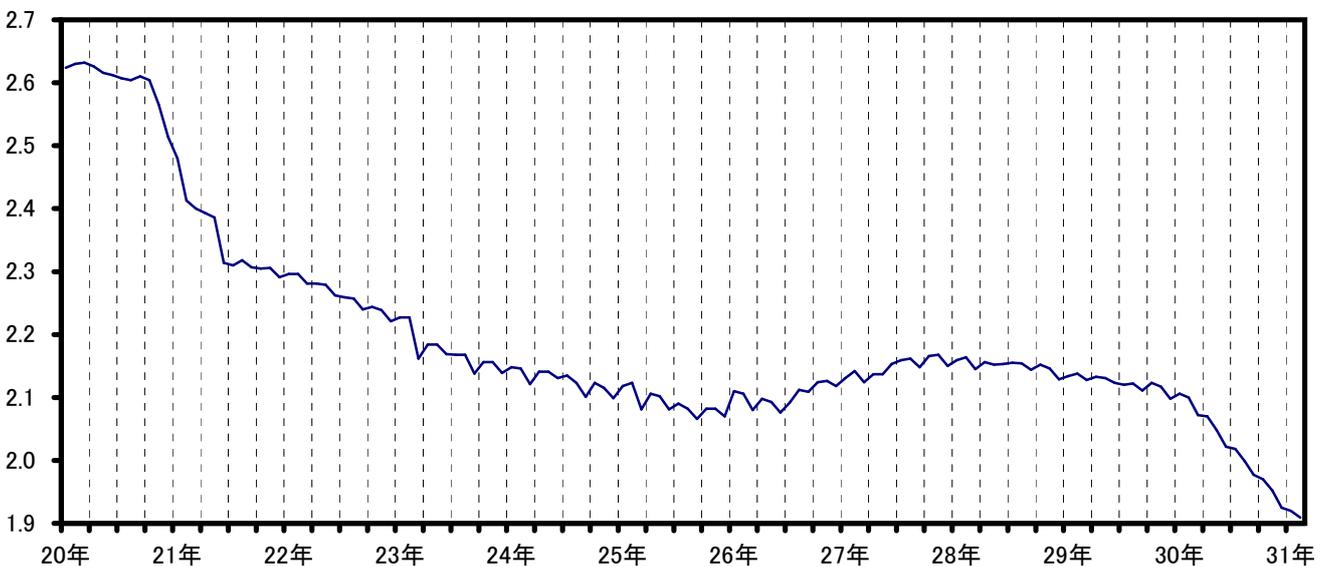
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****2月 = 16,016百万円**

\*前年同月比： 7.5%減

## &lt;概況&gt;

2月の保証承諾は、金額は16,016百万円（前年同月比 7.5%減）、件数は1,593件（同 12.7%減）と、いずれも4か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
保証金額（百万円）	19,024	19,715	18,648	16,121	17,768	19,565	12,720	16,016
前年同月比（%）	9.3	8.7	▲ 3.5	1.5	▲ 12.0	▲ 16.3	▲ 6.7	▲ 7.5
保証件数（件）	1,920	1,989	1,859	1,692	1,744	1,889	1,340	1,593
前年同月比（%）	10.5	2.9	▲ 7.5	3.5	▲ 9.6	▲ 18.5	▲ 9.8	▲ 12.7

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****3月 = 111.21円/ドル**

\*前月差： 0.85円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

\*前年同月差： 1.52円安

## &lt;概況&gt;

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は111.21円で、前月と比べて0.85円の円安となり、2か月連続で円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
平均相場（円）	111.06	111.89	112.78	113.37	112.45	108.95	110.36	111.21
前月差（円）	▲ 0.31	0.83	0.89	0.59	▲ 0.92	▲ 3.50	1.41	0.85
前年同月差（円）	1.15	1.21	▲ 0.18	0.45	▲ 0.52	▲ 1.82	2.54	1.52

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****3月 = 12件**

\*前年同月比： 53.8%減

## &lt;概況&gt;

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は12件（前年同月比 53.8%減）と、前年同月比を下回り、負債総額は4,320百万円（同 40.9%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の100.0%を占め、256か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

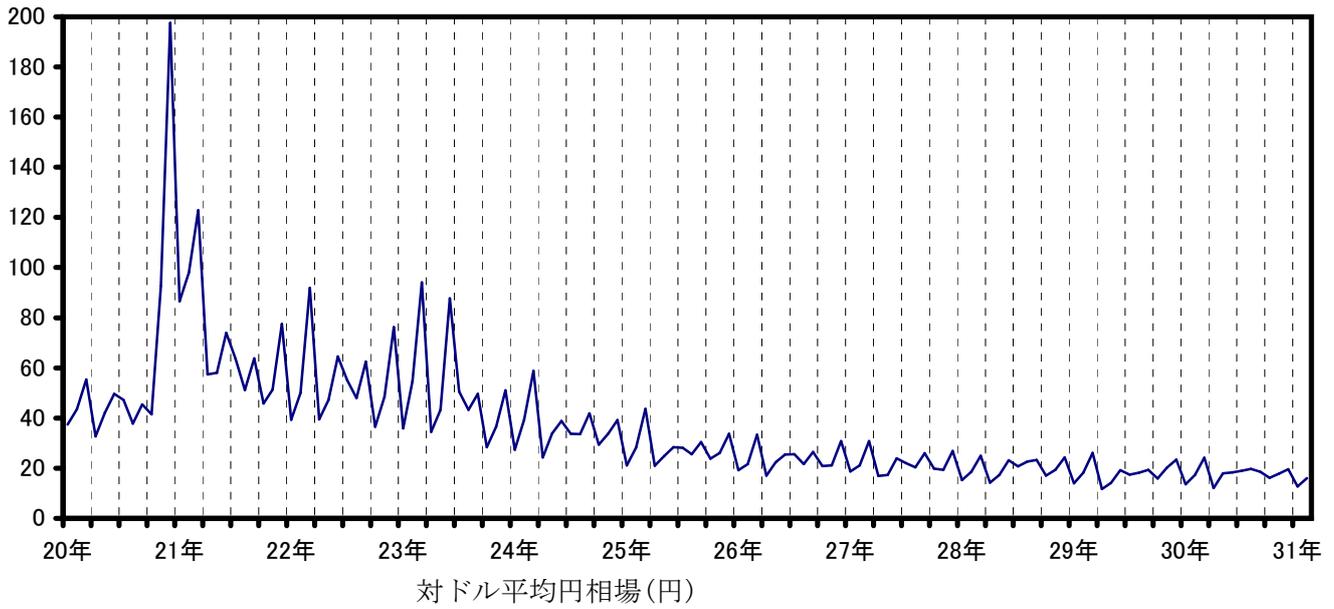
	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
倒産件数（件）	22	10	20	17	17	15	12	12
前年同月比（%）	4.7	▲ 56.5	▲ 13.0	▲ 19.0	13.3	▲ 16.6	▲ 45.4	▲ 53.8
うち不況型倒産件数(件)	20	9	15	15	17	15	9	12
負債総額（百万円）	2,327	662	3,587	2,238	2,489	1,235	1,495	4,320
前年同月比（%）	38.5	▲ 57.5	1.2	▲ 73.3	98.3	▲ 47.8	▲ 44.3	40.9

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

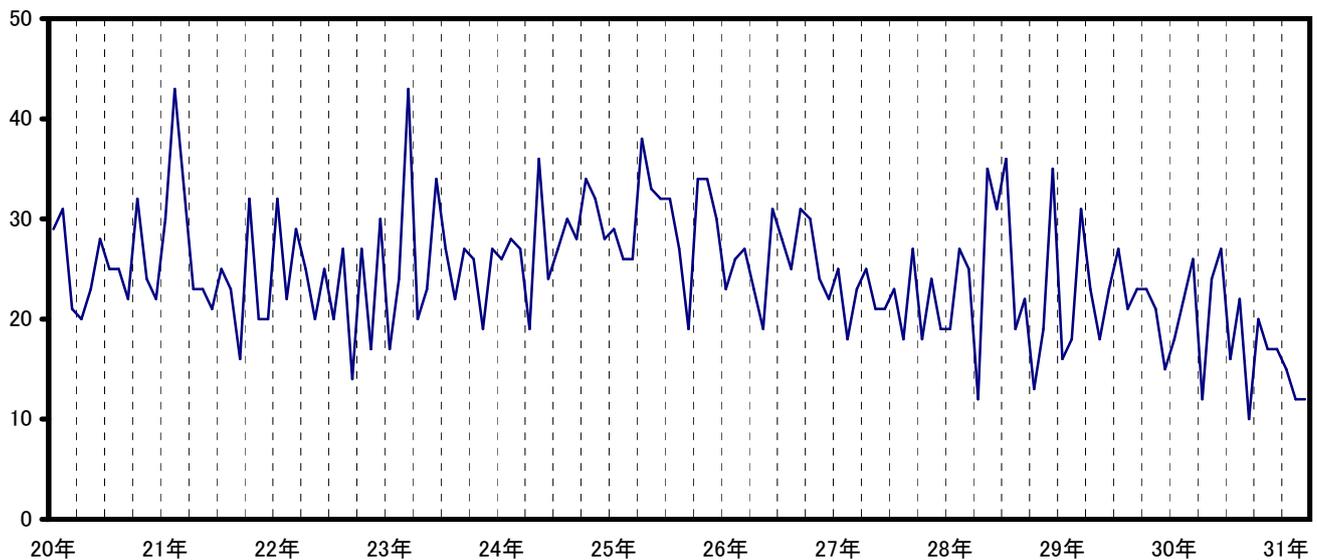
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成31年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>1月の国内二輪車生産台数は、48,897台（前年同月比 9.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,375台（同12.5%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,118台（同20.2%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,577台（同41.4%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、32,827台（同 7.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、26,388台（同29.4%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、36,223台（同14.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>1月の自動車国内生産台数は、790,114台（前年同月比 7.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は362,443台（同 8.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月ぶり、トラックが5か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は369億円（前年同月比14.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は321千台（同 8.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは608千台（同 4.5%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。業務用は69千台（同 3.0%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>1月の携帯電話の国内出荷台数は、1,282千台（同18.4%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、821千台（同15.7%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 64.1%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,097億4,200万円（前年同月比 29.3%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は680億7,400万円（同 29.8%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが270億4,700万円（同 42.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。内需は416億6,800万円（同 28.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「納期が短期化しており、残業増加により収益を圧迫している。」という声や「国内・国外向けともに投資先送りの感があり、新規受注に陰りが見える。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、48億5,862万円（前年同月比 5.6%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが25億3,369万円（同13.5%増）、国内向けが23億2,493万円（同 1.8%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,916台（同 3.9%増）だった。機種別では、アップライトピアノが1,895台（同 4.9%増）、グランドピアノが1,021台（同 2.0%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,195台（同 9.0%増）、国内向けが1,354台（同19.0%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、1,929千ト（前年同月比 1.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,039千ト（同 3.8%減）と、21か月連続で前年実績を下回った。板紙は890千ト（同 0.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、590千ト（同 3.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、143千ト（同1.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け891千箱（前年同月比 1.4%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は594千箱（同 0.5%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は438千箱（同 2.2%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は296千箱（同 3.3%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,548千箱（同 6.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、1,392千㎡（前年同月比 4.4%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,312千㎡（同 2.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、81千㎡（同 52.3%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、27千㎡（同 22.6%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、50億8,327万円（前年同月比 14.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、471億4,647万円（同 2.5%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>2月の県内百貨店・スーパーの販売額は、29,545百万円（既存店前年同月比4.5%減）と、前年実績を下回った。品目別に見ると、全ての品目（衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）の販売額で前年実績を下回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、温暖な気候が続き生育が好調となったことによる農産物の値崩れのほか、水産・畜産を含めた生鮮部門全体で単価が下落したことや、周辺ドラッグストア等との競合による客数の低迷が相まって売上げが大きく下落した。</p> <p>また、西部の百貨店への聞き取りでは、外商の不調の影響から雑貨（美術・宝飾・貴金属等）の売上げが伸びなかった。一方、化粧品の売上げは好調で、若い世代でも化粧品を百貨店で買う人が増えていた。</p> <p>沼津市の商店街では、個店の魅力を発信することを目的として「H I N A P Show Time～高校生×地元のお店とコラボ文化祭～」が開催された。高校生が地元店舗の協力のもと、各店舗における物販・PR方法等を検討・企画し、飲食ブースの出店やステージイベントを行った。今年で開催4年目を迎え、毎年盛り上がりを見せていた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>1月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約31万人と、前年同月比6.6%増だった。</p> <p>11月に日本平夢テラスが開館したことで、周辺の観光施設では県外からの団体客を中心に増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約68万台と、前年同月に比べて5.6%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
完成車生産台数(台)	15,413	12,784	10,823	21,457	29,265	26,209	24,560	24,286	25,212
前年同月比(%)	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 32.8	44.1	72.9	56.1	79.2	84.4	20.6
KD輸出額(百万円)	570	589	624	709	779	743	754	765	816
前年同月比(%)	▲ 20.1	▲ 23.7	8.5	43.0	29.3	22.5	42.0	41.9	25.4

### <楽 器>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
生産総額(百万円)	3,178	3,187	2,767	2,768	3,478	3,348	2,952	2,812	3,032
前年同月比(%)	▲ 14.8	▲ 5.0	▲ 5.7	▲ 10.1	5.3	0.4	▲ 10.5	10.9	4.4

### <缶詰>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	963	996	966	943	1,043	1,034	949	925	891
前年同月比(%)	▲ 3.6	3.1	▲ 0.9	▲ 2.2	7.9	4.2	6.1	14.8	1.4
うち水産缶詰(%)	▲ 5.0	5.7	6.8	▲ 0.6	6.4	2.5	7.0	18.8	0.5
農畜産缶詰(%)	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 16.4	▲ 6.3	11.3	8.5	4.2	5.3	3.3
飲料缶生産高(千ケース)	7,394	7,139	7,407	6,774	6,884	7,005	6,135	4,650	5,548
前年同月比(%)	▲ 7.2	▲ 14.8	▲ 3.2	7.6	15.8	10.4	11.3	▲ 0.9	6.8

### <織 維>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
広幅織物(千㎡)	1,177	1,137	1,149	1,344	1,495	1,718	1,639	1,532	1,392
前年同月比(%)	3.5	1.5	3.5	▲ 4.7	0.1	2.4	3.1	1.1	4.4
小幅織物(千㎡)	28	27	24	27	29	31	31	29	27
前年同月比(%)	▲ 4.6	▲ 0.1	▲ 4.3	▲ 12.9	▲ 8.7	▲ 5.4	▲ 6.4	▲ 7.5	▲ 22.6

### <観 光>

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
観光施設(10施設)入込 (千人)	536	302	287	531	354	372	393	283	305
前年同月比(%)	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2	▲ 5.7	▲ 9.5	12.6	5.2	12.5	6.6
有料道路(5路線)通行量 (千台)	719	656	752	890	675	724	738	730	675
前年同月比(%)	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9	0.8	▲ 4.1	8.1	0.4	0.7	5.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成31年4月号 通巻516号

発行 静岡県経済産業部  
平成31年4月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>